



第1回

温泉を活用したまちづくりを考える 町民ワークショップ

2025年11月14日(金) 18:30～
ゆめホール知床

本日の進め方

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. ごあいさつ・趣旨説明 | 18:30~18:40 |
| 2. 温浴施設検討の現状について | 18:40~19:00 |
| 3. グループワーク・全体共有 | 19:00~19:50 |
| 4. 本日の振り返り・次回ご案内等 | 19:50~20:00 |



温浴施設に関するこれまでの経緯

斜里町では、近年市街地周辺に公営温浴施設が無くなったことを踏まえ、令和6年度より「複合公共施設(温浴)建設事業」の検討を進めています。

R1～2年

町営温浴施設「ウナベツ自然休養村管理センター」「町民憩いの家」が休業し、市街地周辺に公営温浴施設がなくなる。

R6年

「第7次斜里町総合計画」を策定し、
「複合公共施設(温浴)建設事業」の検討を主要事業に位置付ける。

R6年

複合公共施設(温浴)に関する町民アンケート調査を実施。

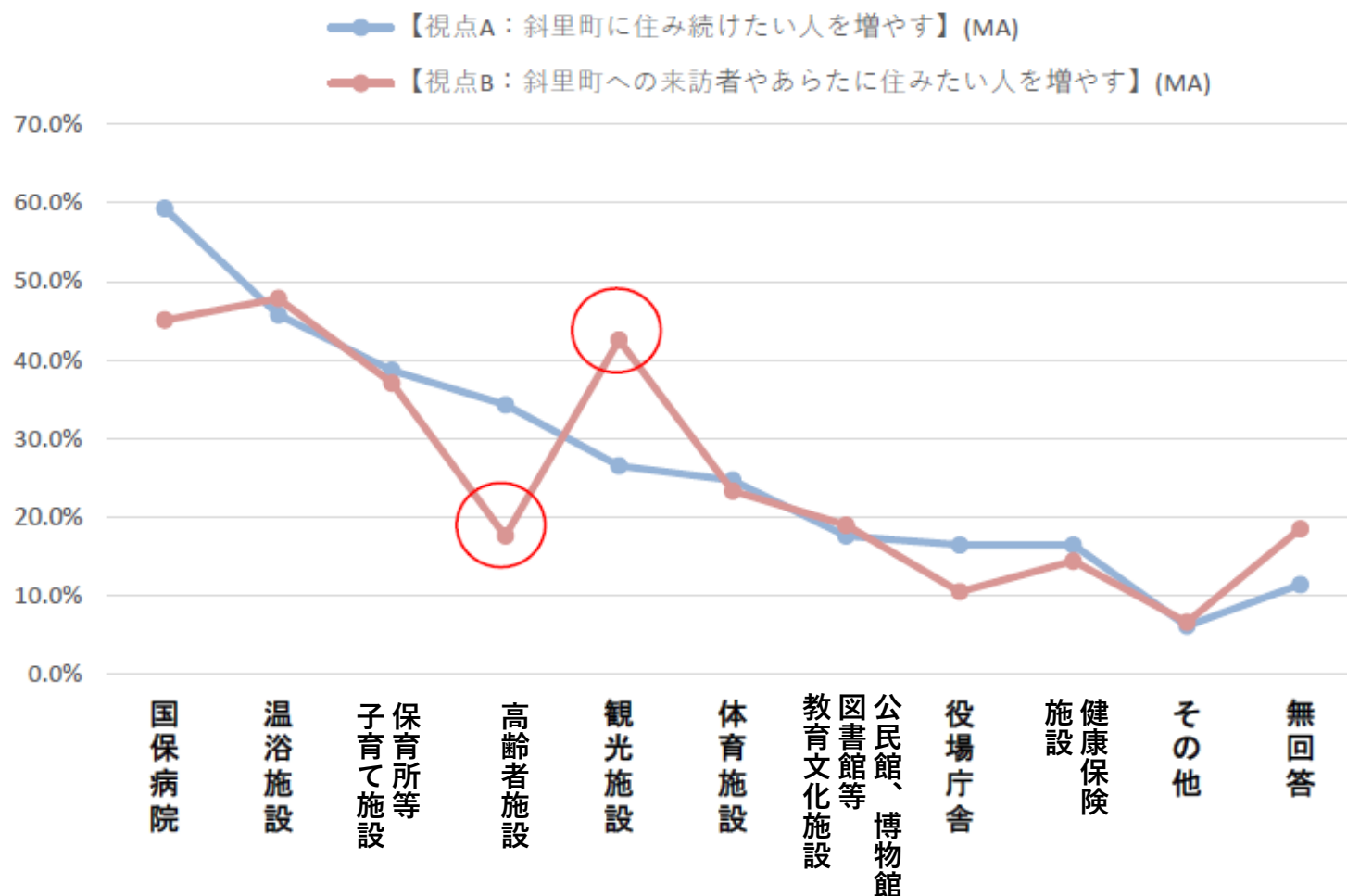
R7年

複合公共施設(温浴)に関する基本構想を策定中。



町民アンケート結果

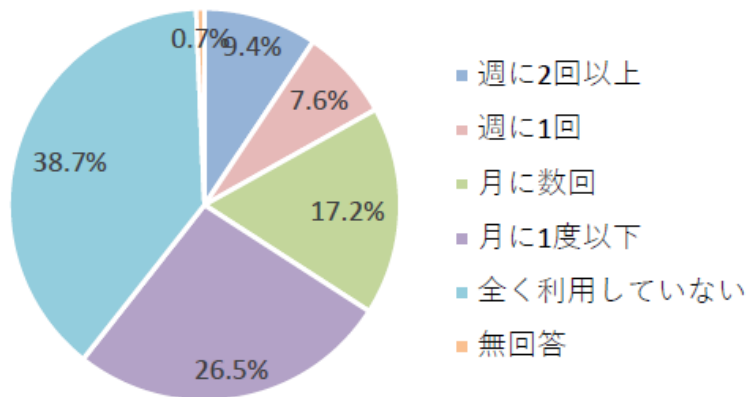
今後、強化・充実を求める公共施設として、斜里町に住み続けたい人を増やす観点、来訪者や新たに住みたい人を増やす観点の両方で、「国保病院」「温浴施設」「保育所など子育て施設」が多くなっています。



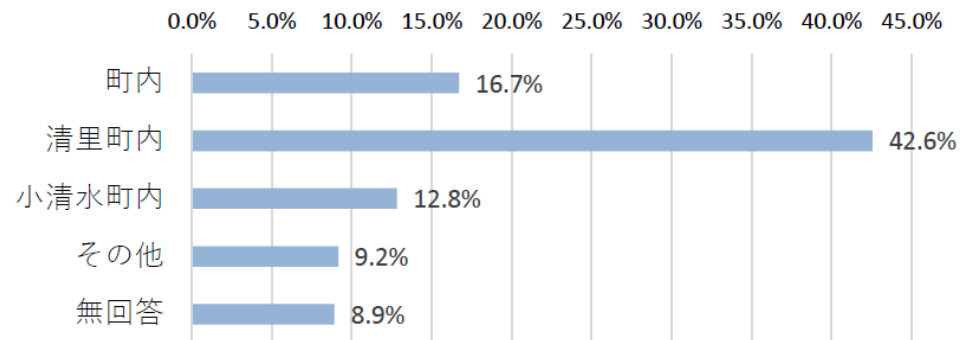
町民アンケート結果

現在の温浴施設の利用頻度は、「月に数回」以上利用する方が34%程度となっています。利用する温浴施設は、清里町内の施設が最も多く、町内の施設は16.7%となっています。

【温浴施設の利用頻度】



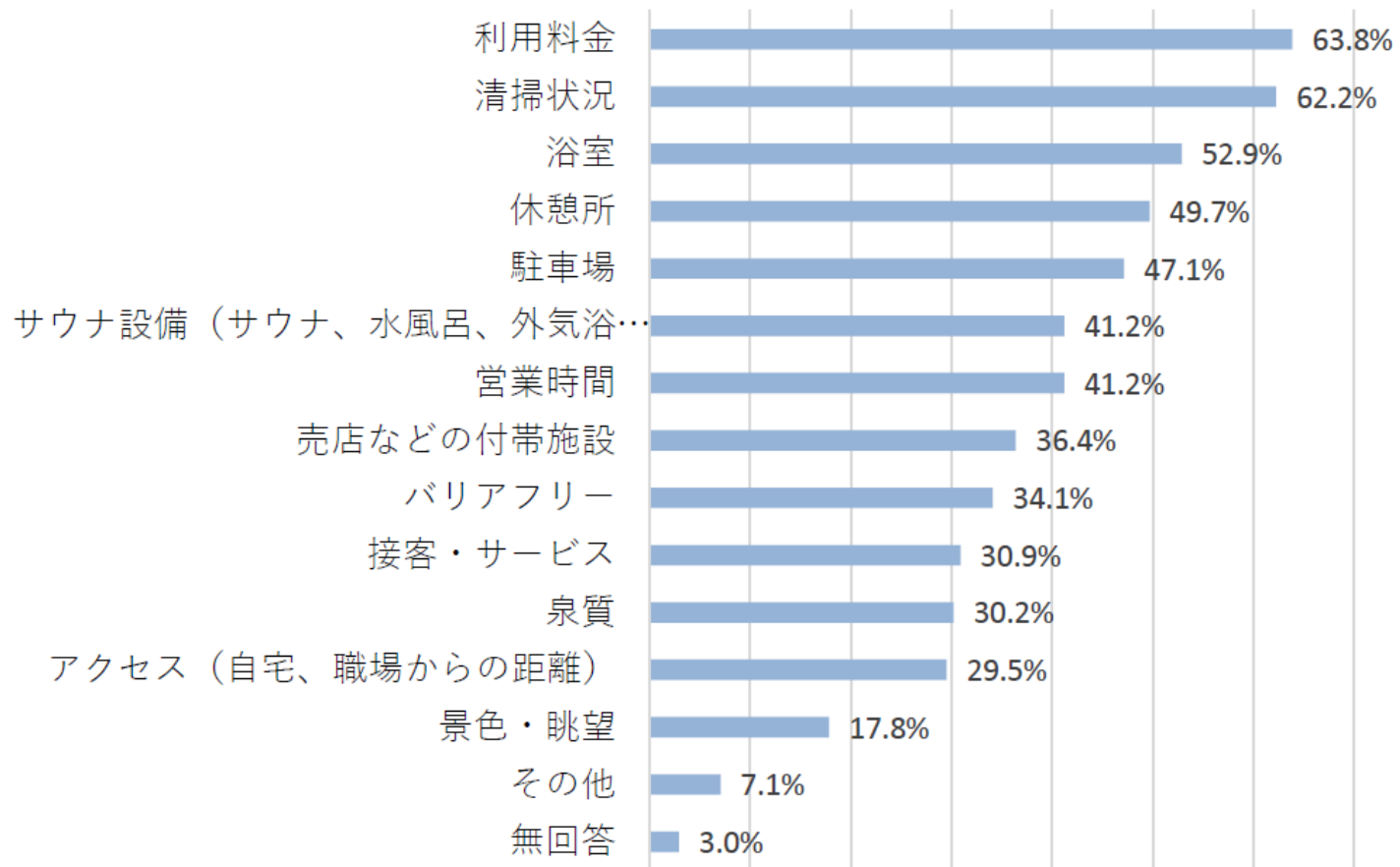
【利用する温浴施設の所在地】



町民アンケート結果

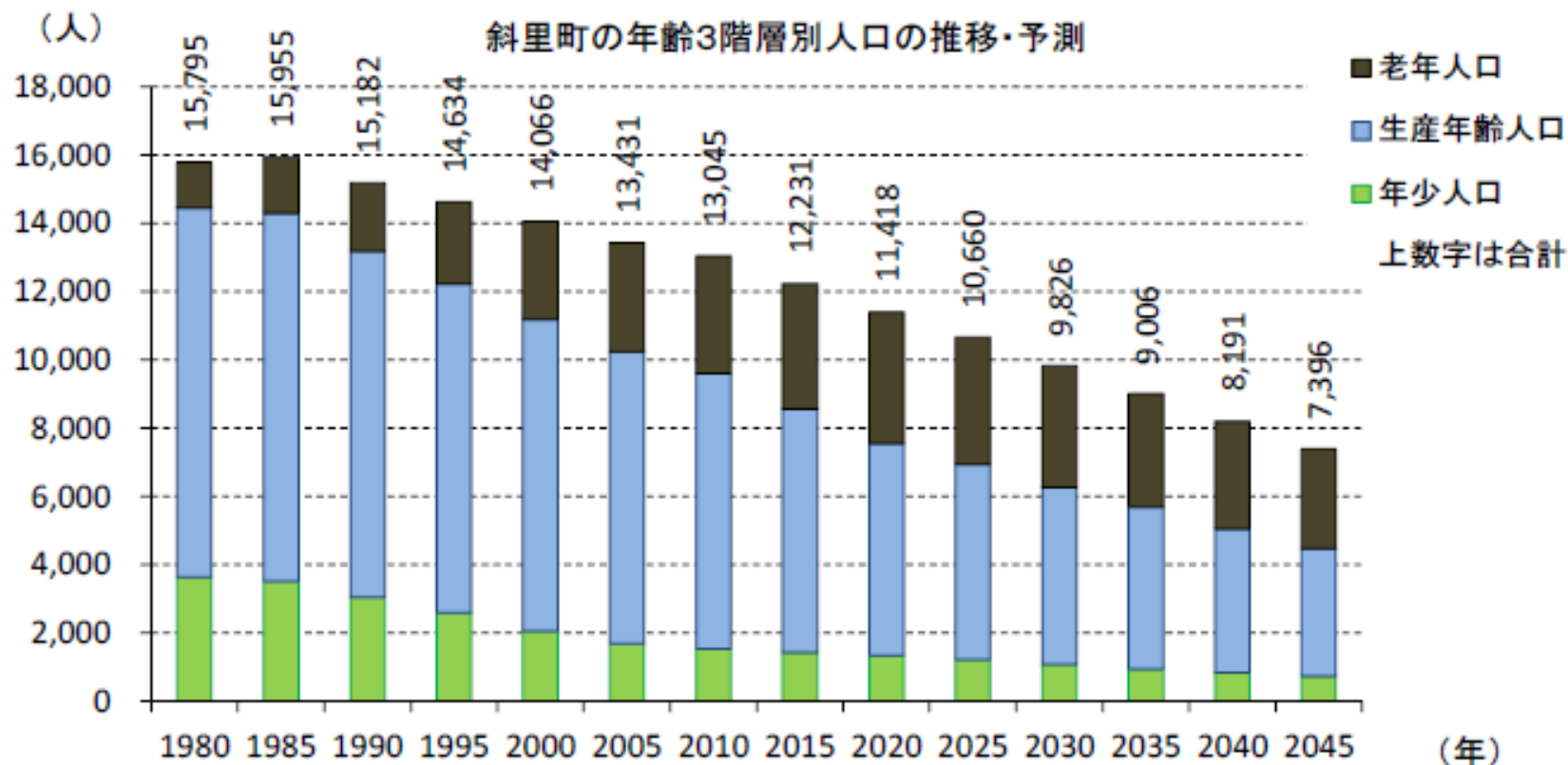
温浴施設を整備するにあたり、重視する点は「利用料金」「清掃状況」「浴室」「休憩所」「駐車場」が多くなっています。

【町内で温浴施設を整備するにあたり重視する点】



斜里町の人口

斜里町の人口は近年減少傾向にあり、1985年に約16,000人だった人口が2025年には1万人余りとなっています。今後の推計でも人口減少が予測され、2045年には、約7,400人まで減少すると見込まれます。



市街地における公共施設

斜里町の公共施設は、1970年代後半から1990年代に建築された施設が多く、今後の大規模改修や建て替えに、多くのコストを必要とすることが予想されます。将来的な人口減少により町の財源減少が見込まれるなか、公共施設量を現状のまま維持し続けることは困難と考えられます。

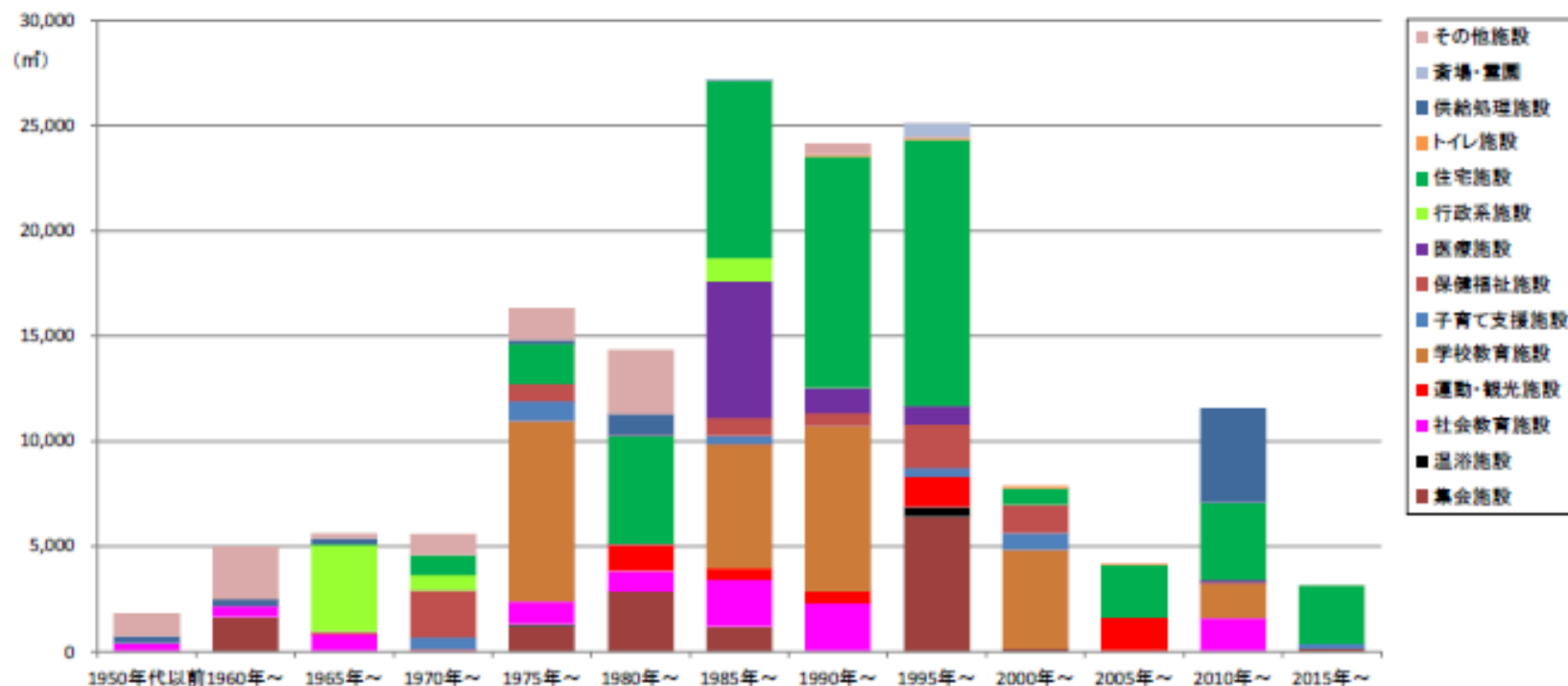


図 2-7 建築年代別（5 年刻み）の建物延べ床面積（㎡）



市街地における公共施設

今後老朽化などで更新や大規模改修等の検討が必要になると考えられる市街地およびその周辺の施設は、以下の通りです。

区分		施設名
斜里町公共施設等総合管理計画で「統合・複合化を図るべき施設」と位置付けられたもの	集会施設	富士コミュニティセンター 大栄地区農村集落センター
	子育て支援施設	子ども通園センター はまなす保育園
	保健福祉施設	高齢者健康増進センター 老人福祉センター
その他、老朽化等により更新や大規模改修を検討すべき施設	社会教育施設	知床博物館
	運動・観光施設	B&G斜里海洋センター(体育館・プール)
	医療施設	斜里町国民健康保険病院



市街地における温泉資源・温浴施設

市街地周辺には、民間事業者の温浴施設が立地しているほか、掘削済みの温泉資源が6か所あります。



事業者のみなさまのご意見

- 日帰り入浴は町内の高齢者の方の利用が多いが、車でしか来られないため免許返納後は来られなくなってしまうため、交通手段の工夫が必要。
- 新たな温浴施設は、町民だけでなく、外から人を呼び込むことができる施設であるべき。
- 宿泊客は2月、5月～10月までは多いが、その他の時期は少ない。
- 道の駅しゃりでは、車中泊が増えており、ニーズは高いと思う。
- 宿泊施設の価格が高騰しているため、価格とサービスのバランスが重要。
- 斜里町では宿泊需要が高く、新たな施設を立てる余地はあると思うが、従業員の確保が課題である。
- 夕食を提供しない宿泊施設であれば、飲食店が多い駅前が優位であると思う。
- 斜里町が大きな施設を建てると、小規模な施設が営業を継続することは難しい。既存の事業者と十分にコミュニケーションを取って進めてほしい。
- 町の人口が減っていく中、温浴施設の整備を優先的にやるべきか疑問。



温浴施設整備の考え方

斜里町における温浴施設整備については、
町民の皆さまのニーズは大きい一方、他の公共施設の更新等への影響も
避けられず、慎重に検討すべきものと考えています。
そのため、まずは町の財政負担が抑えられる事業手法の検討を
進めることを想定しています。



温浴施設整備の考え方

町の財政負担を抑えつつ、温浴施設を整備できる可能性がある、「町と民間企業が連携して整備」の可能性を調査することを予定しています。

	メリット	留意点
1 町が 中心となり整備	多くの町民ニーズを反映した施設を整備することが可能。	将来にわたり町の財政負担が大きく、町民サービスや他の公共施設の再整備等への影響が見込まれる。
2 町と民間企業が 連携して整備	町の財政負担が比較的少なく、町民サービスや他の公共施設等の建替等への影響が比較的抑えられる。	民間企業の収益性も考慮する必要があり、町民ニーズの反映には一定の制約がある。
3 既存の温浴施設の活用促進	町の財政負担が最も少なく、他の公共施設等の建替等への影響が最も抑えられる。	新たな温浴施設が欲しいという、町民のニーズには応えられない。



温浴施設整備検討のスケジュール

温浴施設整備の検討は以下のスケジュールを進めることを想定しています。
※あくまで現時点での予定であり、今後変更の可能性あります。

R7年度

温浴施設整備に係る基本構想策定
町民や事業者のみなさまのご意見把握

R8年度

温浴施設整備に係る官民連携の実現可能性の検討

実現可能性あり

実現可能性なし

R9年度
以降

事業者の公募・
温浴施設基本計画の策定等

既存の温浴施設の
活用促進策の検討

R13年度
以降

温浴施設の開業



グループワークについて

斜里町における温浴施設整備については、
様々なご意見があるかと思いますが、
今回のワークショップでは、

「もし、斜里町に温浴施設ができるのであれば、どんな施設がよいか」
をテーマにアイデアを頂ければと思います。



テーマ① 温浴施設の立地場所

温浴施設の立地場所として、市街地かつ既存の温泉資源を活用できる可能性のある4つのエリアを検討しています。

望ましいと考える場所について、ご意見をお願いいたします。



※計画を具体化する際には、泉源の所有者と活用可能性を協議していきます。

テーマ② 温浴施設と複合化すべき機能

温浴施設にあったら良いと考える施設や機能について、ご意見をお願いいたします。

【参考】町民アンケート調査で挙げられた複合化すべき機能

- 飲食、カフェ
- ジム、フィットネス
- 食品・物産販売
- 宿泊施設
- 温水プール
- ゲーム、軽スポーツ
- バーベキュー、キャンプ
- 散歩道、公園
- 集会場(コミュニティスペース)
- 高齢者施設
- 体育館
- 病院、診療所
- 保育所等、子育て施設
- 映画館
- 図書館
- 役場庁舎
- 文化ホール
- 博物館



テーマ③ その他のアイデア

斜里町で温浴施設を整備するにあたり、特に大事にしてほしいことや留意点などがあれば、ご意見をお願いいたします。



グループワーク

19:00～19:35まで

各テーブルでアイデア出しをお願いします！

【グループワークのテーマ】

- ①温浴施設の立地場所について
- ②温浴施設と複合化すべき機能について
- ③その他のアイデアについて



次回のご案内

【第2回ワークショップについて】

開催日時： 2026年1月〇日(〇) 18:30~20:00

開催場所： ゆめホール知床 〇〇

テーマ ： 温浴施設基本構想の検討結果について

